

ニーズ・シーズのマッチング状況

マッチング支援の状況（官民連携PF）

プラットフォームを起点としたマッチング状況

- 今年度マッチング支援を通じて得られた課題示唆として、①地方公共団体のニーズが不明確である、②庁内での理解醸成と人・資金的なリソースが不足している、③1事業者のソリューションだけではニーズを達成し得ないことがわかった。
- 地方公共団体がスマートシティ推進を自走化させる取組として、次年度以降は地方公共団体同士が情報共有する場や機会を創出すべきではないか。

マッチング支援を通じて得られた課題示唆

ニーズ起点でのマッチング支援を通じて、ニーズとシーズのマッチングが進まない課題として下記3点が挙げられる。

①地方公共団体のニーズが不明確である

- ✓ 特定の分野に対する課題やニーズはあるものの、課題解決に向けた具体的なニーズの深掘りが不足していたり、それに伴い取組の方針や手段が定まっていないケースが多い。

②1事業者のソリューションだけではニーズを達成し得ない

- ✓ 地方公共団体のニーズは複雑に絡みあうことが一般的で、1民間事業者のソリューションだけではニーズを達成し得ないケースが多い。潜在的なニーズを洗い出し、事業者のソリューションを組み合わせることで導入しなければ地域にとって真の課題解決に至らない可能性が高い。

③庁内での理解醸成と人・資金的なリソースが不足している

- ✓ 担当課での課題設定とアプローチ方針は一定整理されているものの、庁内での課題解決の重要性やアプローチが十分理解されていないケースが多い。また、人・資金的なリソース不足が原因で、議論が進展しないケースも見受けられる。

次年度取組への示唆

今年度マッチング支援を通じて得られた課題示唆やコミッティで有識者からいただいたコメントを踏まえ、地方公共団体が補助金等を活用しなくともスマートシティ推進を自走化させていくためには、次年度以降、地方公共団体が情報共有する場や機会を創出すべきではないか。

地方公共団体が情報共有する場や機会の創出

- ・ 人材育成や体制構築を目的としたブロック単位での地方公共団体の情報共有
- ・ 広域で取り組むことを視野に入れた近隣地方公共団体の意見交換会 等

PLATEAUコンソーシアムにおけるマッチング支援状況

【自治体マッチング】自治体マッチングで実施するイベント概要

自治体ユースケース紹介イベントと個別相談会の2つを実施。イベントでは自治体の3D都市モデル活用意欲を惹起し、事業者との個別相談会に流入させることで次年度以降の企画立案を推進

	1自治体ユースケース紹介イベント	2 個別相談会
日程	10/1（火）-10/3（木）	10月中旬以降
概要	テーマ別にユースケース・サービスを事業者が自治体にプレゼン	事業者と自治体で次年度以降の導入を推進
ポイント	- 自治体の3D都市モデル活用意欲を惹起するユースケース選定 - 昨年度のイベント時に個別面談実施希望のあった人気のあるユースケースを紹介 - 導入障壁が低いベーシックなユースケースを紹介	- 自治体の素早い導入を支援 - イベント後に実施するアンケートを分析し、面談希望の事業者との個別相談会を実施

【民間マッチング】民間マッチングで実施するイベント概要

個別マッチング会とマッチング支援イベントの2つを実施。ニーズがすでに具体化している事業者に対しては早期の企画化を促進し、ニーズが曖昧な事業者は個別マッチングへの流入が増えるようイベント登壇事業者を選定

	1 個別マッチング会	2 マッチング支援イベント
日程	10月下旬以降順次	10/18（金）
概要	事業者同士を引き合わせて、事業化を推進	テーマ別に事業者のニーズ/シーズを紹介
ポイント	● 早期の企画化を促進 - アンケートの分析結果から、すぐにマッチングできる事業者を特定 - 個別討議の場を用意し、企画案討議を実施	● 個別マッチング会への流入増を狙う - アンケート分析の結果から、事業者が多く関心を持つテーマを特定 - 登壇事業者選定時は、公募だけでなく事務局からの依頼も実施